

フットパスが呼び覚ます コミュニティの多元的機能 ～釧路市橋南地区を題材として～

1

釧路公立大学・神野ゼミA班

3年：藏 坂本 佐藤 新貝 鈴木（奈）

4年：有川 大澤 齋藤 鈴木（聖） 本間 丸山



40

5
海道

訓路港線

「コミュニティの希薄化」について取り上げ、コミュニティの存在が欠損していることで多面的な損害が発生していると考えた。

0 はじめに
～コミュニティの希薄化から
見られる福祉／教育の問題～

0 はじめに

**福祉**

私 = 家庭

公 = 行政

共 = 地域

教育

私 = 家庭

公 = 学校及び公教育

共 = 地域

0 はじめに

釧路市の中でも高齢化・コミュニティの希薄化が顕著に表れている橋南地区に焦点を当てる。

コミュニティ形成の機会を設け、共的な部分の拡充のために

「フットパス」を提案する

I 現状分析 ～私と公の限界～

目次

▶ I 現状分析

I -1) 釧路市の福祉における現状分析

I -2) 釧路市の教育における現状分析

I 現状分析

I-1)福祉における現状

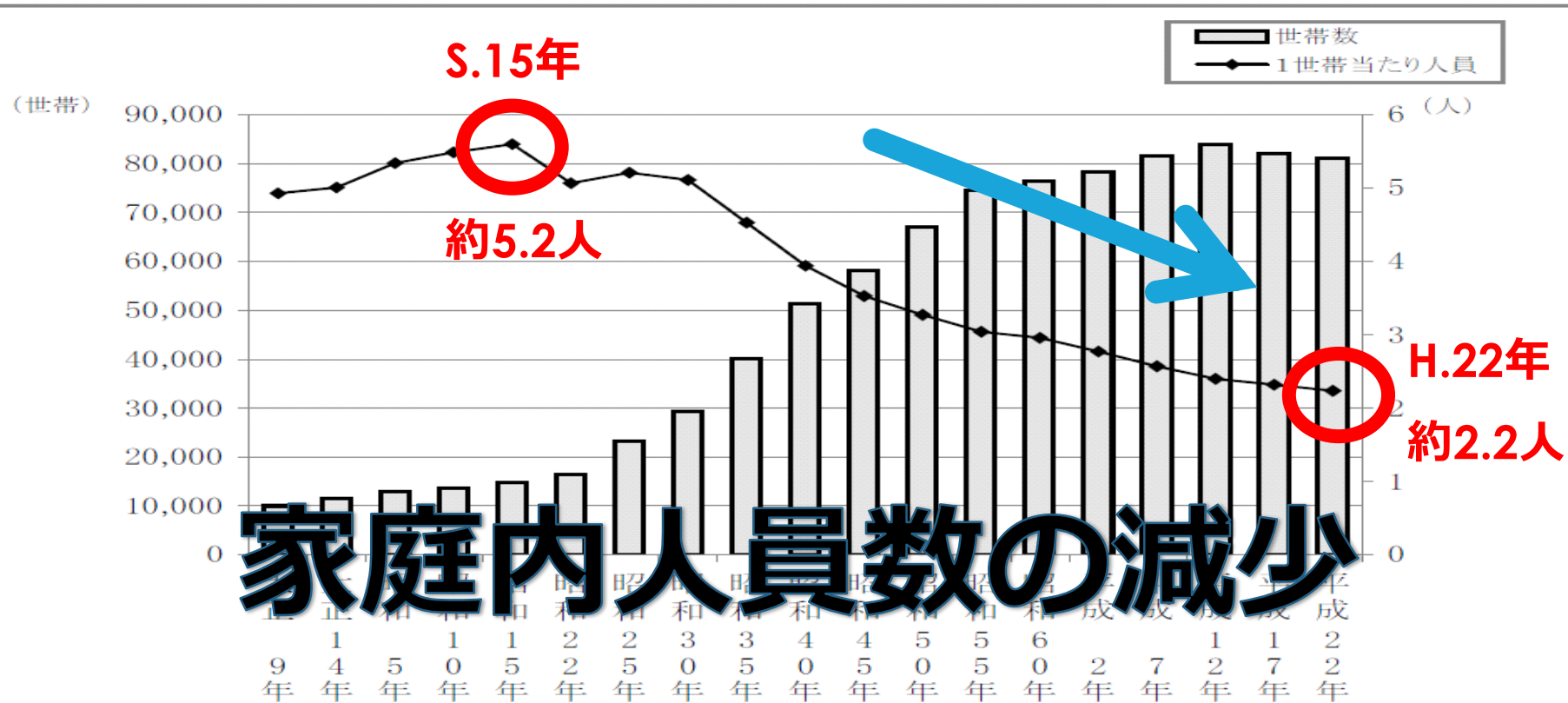
家庭内扶助機能の弱体化による共助の必要性

I 現状分析

I-1)福祉における現状

家庭内扶助機能の弱体化

釧路市の世帯数及び1世帯当たり人員の推移



I 現状分析

I-1)福祉における現状

【高齢者世帯の状況】

(世帯)

区 分	H2	H7	H12	H17	H22
総世帯数	78,260	81,634	83,845	82,079	81,015
65歳以上の 世帯員がいる一般世帯数	15,870	19,633	23,978	27,555	30,468
総世帯数に占める割合	20.3%	24.1%	28.6%	33.6%	37.6%
65歳以上の 高齢単身世帯数	3,179	4,405	6,131	7,597	9,330
総世帯数に占める割合	4.1%	5.4%	7.3%	9.3%	11.5%
夫婦ともに65歳以上の 高齢夫婦世帯数	2,604	3,898	5,725	7,126	8,323
総世帯数に占める割合	3.3%	4.8%	6.8%	8.7%	10.3%

I 現状分析

I-1)福祉における現状

単身高齢者世帯・高齢者夫婦世帯の増加



家庭内扶助機能の弱体化

I 現状分析

I-1)福祉における現状

家庭内扶助機能の弱体化による問題・・・

(i) 介護者のいない高齢者、老老介護の増加

(ii) 居宅サービスの増加

I 現状分析

I -1)福祉における現状

(i) 介護者のいない高齢者、老老介護の増加

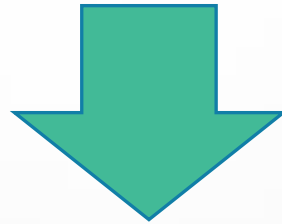
要介護認定を受けており認知症の夫が遺体で発見された案件が発生

※朝日新聞2013年1月の記事より

I 現状分析

I-1)福祉における現状

結果：公的扶助（介護保険制度）を受けていたが・・・
⇒共倒れ



共助による補完が必要